

使っている花 ● ユリ(イエローウィン)、スモークツリー、ペロニカ、エリンジウム



ユリ

花言葉 純潔/威厳



気高く香る夏の女王
艶めく野生が宿る最旬のユリ

プロが伝授!花を長く楽しむアドバイス

- 茎がしっかりした、蕾が膨らみ色づいたものを選びましょう。
- バクテリアの影響を受けにくいので水替えが面倒な方におすすめ!
- 室温が高いと早く開花するので涼しい場所に飾りましょう。切り花栄養剤を使うと開花してからも長く楽しめます。

お家で簡単!3ステップアレンジ

- ①夏のユリは葉も美しいので、葉を適度に残しながら水に浸かる下葉を取り除きます。
- ②大輪のユリは花も重たいので、安定感のある器に活けましょう。今回は大きなバスケットの中に水の入った器を仕込んでいます。
- ③スモークツリーの枝、ユリの順番に活け、アクセントにエリンジウムとペロニカをあししています。

※ユリの花粉は、蕾の咲き始めにピンセットなどで取り除くと花粉が散りません。万が一洋服などについた場合は、ガムテープなどでポンポンと取り除くのがよいでしょう。

濃密な香りを解きはなつて



日本はユリの聖地。初夏から盛夏にはスカシユリ、ササユリ、テッポウユリ、ヤマユリなど様々なユリを楽しむことができます。かのカサブランカも日本のユリから生まれたオリエンタルユリ。昨今は八重咲きタイプの「ローズリリー」が注目的で、さらに希少なマドンナリリーやマルタゴンリリーも市場に出回るように!

ユリ

花言葉 純潔/威厳



気高く香る夏の女王
艶めく野生が宿る最旬のユリ

プロが伝授!花を長く楽しむアドバイス

- 茎がしっかりした、蕾が膨らみ色づいたものを選びましょう。
- バクテリアの影響を受けにくいので水替えが面倒な方におすすめ!
- 室温が高いと早く開花するので涼しい場所に飾りましょう。切り花栄養剤を使うと開花してからも長く楽しめます。

お家で簡単!3ステップアレンジ

- ①夏のユリは葉も美しいので、葉を適度に残しながら水に浸かる下葉を取り除きます。
- ②大輪のユリは花も重たいので、安定感のある器に活けましょう。今回は大きなバスケットの中に水の入った器を仕込んでいます。
- ③スモークツリーの枝、ユリの順番に活け、アクセントにエリンジウムとペロニカをあししています。

※ユリの花粉は、蕾の咲き始めにピンセットなどで取り除くと花粉が散りません。万が一洋服などについた場合は、ガムテープなどでポンポンと取り除くのがよいでしょう。

濃密な香りを解きはなつて



日本はユリの聖地。初夏から盛夏にはスカシユリ、ササユリ、テッポウユリ、ヤマユリなど様々なユリを楽しむことができます。かのカサブランカも日本のユリから生まれたオリエンタルユリ。昨今は八重咲きタイプの「ローズリリー」が注目的で、さらに希少なマドンナリリーやマルタゴンリリーも市場に出回るように!



使っている花 ● ユリ(イエローウィン)、スモークツリー、ペロニカ、エリンジウム

使っている花 ● ユリ(イエローウィン)、スモークツリー、ペロニカ、エリンジウム



ユリ

花言葉 純潔/威厳



気高く香る夏の女王
艶めく野生が宿る最旬のユリ

プロが伝授!花を長く楽しむアドバイス

- 茎がしっかりした、蕾が膨らみ色づいたものを選びましょう。
- バクテリアの影響を受けにくいので水替えが面倒な方におすすめ!
- 室温が高いと早く開花するので涼しい場所に飾りましょう。切り花栄養剤を使うと開花してからも長く楽しめます。

お家で簡単!3ステップアレンジ

- ①夏のユリは葉も美しいので、葉を適度に残しながら水に浸かる下葉を取り除きます。
- ②大輪のユリは花も重たいので、安定感のある器に活けましょう。今回は大きなバスケットの中に水の入った器を仕込んでいます。
- ③スモークツリーの枝、ユリの順番に活け、アクセントにエリンジウムとペロニカをあししています。

※ユリの花粉は、蕾の咲き始めにピンセットなどで取り除くと花粉が散りません。万が一洋服などについた場合は、ガムテープなどでポンポンと取り除くのがよいでしょう。

濃密な香りを解きはなつて



日本はユリの聖地。初夏から盛夏にはスカシユリ、ササユリ、テッポウユリ、ヤマユリなど様々なユリを楽しむことができます。かのカサブランカも日本のユリから生まれたオリエンタルユリ。昨今は八重咲きタイプの「ローズリリー」が注目的で、さらに希少なマドンナリリーやマルタゴンリリーも市場に出回るように!

ユリ

花言葉 純潔/威厳



気高く香る夏の女王
艶めく野生が宿る最旬のユリ

プロが伝授!花を長く楽しむアドバイス

- 茎がしっかりした、蕾が膨らみ色づいたものを選びましょう。
- バクテリアの影響を受けにくいので水替えが面倒な方におすすめ!
- 室温が高いと早く開花するので涼しい場所に飾りましょう。切り花栄養剤を使うと開花してからも長く楽しめます。

お家で簡単!3ステップアレンジ

- ①夏のユリは葉も美しいので、葉を適度に残しながら水に浸かる下葉を取り除きます。
- ②大輪のユリは花も重たいので、安定感のある器に活けましょう。今回は大きなバスケットの中に水の入った器を仕込んでいます。
- ③スモークツリーの枝、ユリの順番に活け、アクセントにエリンジウムとペロニカをあししています。

※ユリの花粉は、蕾の咲き始めにピンセットなどで取り除くと花粉が散りません。万が一洋服などについた場合は、ガムテープなどでポンポンと取り除くのがよいでしょう。

濃密な香りを解きはなつて



日本はユリの聖地。初夏から盛夏にはスカシユリ、ササユリ、テッポウユリ、ヤマユリなど様々なユリを楽しむことができます。かのカサブランカも日本のユリから生まれたオリエンタルユリ。昨今は八重咲きタイプの「ローズリリー」が注目的で、さらに希少なマドンナリリーやマルタゴンリリーも市場に出回るように!



使っている花 ● ユリ(イエローウィン)、スモークツリー、ペロニカ、エリンジウム